

棚田で人をつなぐ、棚田が時をつなぐ

行政と地域住民のよりよい関係性から生まれる
棚田を核とした地域振興

紀美野町役場と中田の棚田再生プロジェクト

紀美野町は「紀美野町、いいところですよ！何もないですけど」と町民の方たちが自虐を込めて作ったPR動画や授業でも何度も取り上げられたキミノーク、そのほか蔵をリノベーションして建てられたカフェなど現在、和歌山県内でも勢いのある地域の1つである。そんな紀美野町で、ここ30年で大半が耕作放棄された、生石高原の北斜面に広がる約10万平方メートルの棚田を、地域おこしの目玉にしようとの動きが活発化してきている。そして美しい棚田の自然と農業文化を次世代に残さんとする地域の有志と紀美野町役場、地域おこし協力隊が集い立ち上げられたのが中田の棚田再生プロジェクトである。

目的・目標

- 目的**
地域振興における行政の役割と地域住民とのかかわり方を学ぶ
- 目標**
棚田・段々畑を核とした地域活性化シンポジウムにおける現地見学会の企画立案と実行

活動概要

- ・まちづくり課の仕事内容の把握
- ・職場見学と副町長への挨拶
- ・棚田での草刈り
- ・地元住民への挨拶
- ・県職員を交えたサミット会議
- ・サミット関係者への依頼
- ・サミット現地見学会の企画・運営



学び

- ・インターンシップをするうえで重要なことは自分が学生であることを活かして学生ならではの意見や考えを發表することが重要だということが分かった。そうすることで当事者意識にも繋がりすべきことが明確に見えてくる。
- ・イベントやプロジェクトの実施において成功の定義は非常に重要で単に無事終えることができたことを成功と呼ぶのか、その波及効果をどれだけ持続させ今後につなげていくことができるかに成功の条件を生み出すかそこを意識しながら企画立案を行うことが重要
- ・行政と地域住民との関りにおいて単に深ければ深いほどいいというわけではなく自分の中で線引きを行うことであくまでも行政としての役割を全うでき、その中でより良い関係を気づくことが重要だと感じた。

まとめ

行政が地域振興の中で重要な役割を担うということは理解していたが、その中で行政と住民が単にサービス提供者と顧客の関係としてではなく協働して地域振興に取り組むことによりよい地域づくりの鍵があることが分かった。また、だからといって完全に住民に溶け込むのではなく、行政としての客観的な視点を持ちながら住民たちへ働きかけることも働くうえで意識することが重要である。今回のインターンシップを通してできた紀美野町役場、そして地元住民の方々とのつながりを大事にするとともに私自身中田の棚田再生プロジェクトに、今度は行政としての立場ではなく活動を支援するサポーターとしてかかわりを持っていきたい。最後に受け入れをしてくださった山本様をはじめとする紀美野町の方々には心より感謝したい。